

年4回（4月、7月、10月、1月の各10日）発行

# ひゅーまん ねつとわーく

# 地域を生きる



社会福祉法人  
北摂杉の子会

2024年 7月 発行 / 第98号

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F  
TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



講師 松上祐来さん

ぷれいすBe 放課後倶楽部 和太鼓 はっぴいびーとの練習

ひゅーまん

HUMAN

RELAY  
リレー



## アセアンの発達障害者と その家族とともに取り組んでいる研究

ひづめ まさふみ  
国立のぞみの園 研究部長 日誌 正文さんより

### ● はじめに

道端のカフェで、周囲にいる知り合いを振り返らず、一心に車道を通る日本車を眺めては「トヨタ」「ホンダ」「マツダ」…と車種名をつぶやいている青年、陸軍省ゲストハウスのステージで、華やかで繊細な曲をソプラノ・リコーダーで吹くと、宙を向いて手遊びをしている少女、2014年の12月に、ベトナムが障害者権利条約に批准をするタイミングに「日本の発達障害者支援」というテーマの講演でベトナムを訪問した時の記憶に残る情景です。講演の後、近くの公園のテントの下で、ベトナム自閉症ネットワーク（全土の自閉症親の会の集まり）の方たちと食事をしながら、それぞれのお子さんのエピソードや、今困っていることなどを、たぶん2時間ぐらいいったかと思いますが、午後の半ばに席について話し込みました。テントを出る頃にはあたりが暗くなっていたのを覚えています。自分が、厚生労働省の発達障害対策専門官をしていたころの話です。

### ● 研究開始前の経緯

2016年の4月は、上記の親の会リーダーお二人を、世界自閉症啓発デー・日本シンポジウムに招待し、ベトナムでの活動を紹介していただきました。その時の控室で、ベトナムの親代表お二人から日本の発達障害の支援を考える議員連盟や厚生労働省の幹部に、「ベトナムでも日本の発達障害者支援法のようなものが制定されて、親だけが頑張る時代を過去のものにしたいので手を貸してほしい」とお話しがあり、その後の展開で、2021年12月から東アジア・ASEAN経済研究センター（ERIA）の委託研究として「東南ア

ジアにおける発達障害者に対する保健医療政策の実態把握と改善に関する研究」が始まりました。

研究の事務局が、上のような経緯から自分のところに降ってきました。アセアンの研究をするにあたって、自分ではあまりにも不案内なので、タイに本部を置くアジア太平洋障害者開発センター（APCD）で長く仕事をしておられ、この研究開始前にちょうど日本に帰国して法政大学の教員となった佐野竜平さんに、プロジェクトのリーダーをお願いすることにしました。佐野先生は、タイだけでなく、アセアン全体のどこの国にも、当事者団体、親の会や政府関係者に太い人脈があり、さらに、ご自身が日本にいらしたときにはグループホームの職員として自閉症の特性がある人の生活をつぶさにご覧になっていたことから、この研究のリーダーを熱意をもって引き受けてくださいました。

### ● 研究の実施、展開

研究の事務局は、私の職場の「国立のぞみの園」（群馬県）だけでなく、アセアン自閉症ネットワーク（AAN）の事務局を担っているインドネシアのLSPR大学（ジャカルタ）にもお願いをしました。LSPR大学は、



AAN

基本的にはマスコミ関係者を養成する私立の大学なのですが、総長以下、何人かの幹部のご家族に自閉症の特性を持った方がいらして、校内の敷地には日本でいう生活介護や児童発達支援事業所を独自に設置しています。インドネシアには、研究の委託元

のERIAの本部もASEAN事務局もあり、様々な調整を進めるには有用です。佐野先生と私は、LSPR大学の国際的な紛争解決学を専門とするルディ先生、自閉症支援を専門とするヘルシタ先生と、アセアンの国々を訪問し、当事者団体、親の会や政府関係者、大学等の研究機関、支援現場（親の会率の作業所、学校など）を訪問しヒアリングを重ねました。

研究の結果の詳細は、報告書がいずれ公表されますので、そちらに譲ります。ここでは、大まかなことだけご紹介しておきますと、発達障害の特性を踏まえた支援者の確保や社会的理解は日本に比べてもまだまだ不十分で、親の会が学校や作業所を作らなければならない状況でした。世界自閉症啓発デーの啓発イベントは各国で取り上げられています。



フィリピンの啓発グッズ

特に地方都市では身体拘束が日常的に行われている話も伺いました。専門家や親はインターネット経由で構造化による環境調整などを進め、知的に高い当事者は、当事者会を組織して仲間同士の支え合いを行ない、感覚の過敏さやコミュニケーション上の配慮について大学の講義棟に客員として呼ばれて話をするなど、社会的な理解を広げるための活動も少しずつ盛んになっています。インドネシアでは、関係者が横につながっていくためのIDD（インドネシア発達障害ネットワーク）を2023年の8月に立ち上げています。



ベトナムの階段



インドネシアカームルーム

政府や企業もこのような社会的な変化を認識しており、今後のアセアン全体やそれぞれの国の保健・福祉分野の長期計画改定の際に、発達障害をテーマとして位置付けていく必要があることを念頭に置いているようでした。そして、2023年12月日本ASEAN友好協力50周年特別首脳会議の成果文書の実施計画「日本ASEAN友好協力に関する共同ビジョン・ステートメント2023 信頼のパートナー」には、上記のような展開を踏まえて「ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合、社会福祉・開発高級実務レベル会合（SOMSWD）における地域イニシアティブ、及びERIAの研究に基づく発達障害者のための多分野にわたる活動を通じたものを含め、社会的保護及び社会保険等の分野における協力を強化する。」という、次の展開につながる文言が記載されました。現在は、アセアンと日本の、もっと具体的な人材交流（支援者、当事者）を開始していく仕組みづくりを検討しています。

### ● おわりに

自分がベトナムで10年前にお会いした青年と少女は、現在も10年前と同じく熱心な家族とともに落ち着いた暮らしをしています。親の会の方たちは、親亡き後のことを日本以上に心配をされています。2023年の3月に、インドネシア、フィリピン、ベトナム、2023年の10月にカンボジア、ラオス、ミャンマーの方たちが来日され、日本の特別支援学校や障害者雇用企業、グループホームなどを見学されましたが、特にグループホームの見学では、「こういうのが必要だ」と涙されることもありました。今の日本は、アセアンにお金での支援ではなく、情報の共有や人材の交流など、信頼関係に基づいて伴走することが必要なパートナーになっていると感じます。皆さんのお近くでも、きっとそういうことが起きていると思います。



正夢の会グループホーム視察

## 地域における包括的支援体制の構築をめざして

### ～地域連携を考えて～



NPO 法人 ピーす  
社会福祉法人 大阪手をつなぐ育成会  
理事長 小 田 多佳子さんより

#### ■ 重度自閉症の息子と私のこと

令和6年4月に新しく届いた息子の受給者証には「強度行動障害18点以上」という記載があり。私はその一人息子（30歳）とのユニークな生活を、毎日味わいながら暮らしています。

息子が自閉症と診断されたのは3歳の頃。そして5歳の時に、私は夫を癌で亡くしました。そんな絶望しかなかった幼児期に、TEACCHプログラムと出会い、またその頃普及しはじめたパソコンが夫の遺品の中にあっただことから、ネットやメールを活用し、全国の仲間や支援者と出会うことができ、様々な助言をもらえるようになりました。

その助言の1つにVOCA（音声出力会話補助装置）の活用があり、10歳の時にトーキングエイド（50音の装置）を用いたコミュニケーション支援を開始。息子は知的面も最重度ですので、文字を使うことなど無理だと思っていたけれど、トーキングエイドを使用することで、あっという間にひらがなを読む力を獲得したのは、本当に驚かされました。その後は『コミュニケーションエイドあのね♪』を使い、スケジュールやカレンダーに自分の意思を伝えて反映する形が定着しました。現在は機器を使わなくても音声言語で要求等ができるようになり、毎日自分の意思を伝え、見通しを持った生活を送っています。

家の構造化も年齢とともに進化させ、現在は自宅内にワンルームマンション風の部屋を作り、一人暮らしに近い生活を送っています。どの支援方法もきちんと学んだ訳ではなく我流ですので、十分ではないと思いますが、私たち親子にあった形で、我が家なりに平和に暮らせています。今後も、驚くほ

ど進化の早い技術が、まだ若い息子の人生に良い影響を与えてくれることを願っています。



#### ■ NPO法人ピーすについて

私が運営しているNPO法人ピーす（堺市）は、障がいのある『こども』に特化した支援活動をする法人です。平成9年（息子3歳）にボランティア団体を結成、それを母体として平成17年（小6）にNPO法人を設立しました。ボランティア団体の頃から、余暇活動、保護者の学習会企画、相談支援、支援グッズの販売など、様々な種類の活動を行っています。その中の1つが重度知的障害児の放課後活動。平成16年から開始し、構造化やコミュニケーション支援を仲間の母親達と学び合いながら取入れたところ、口コミで広がって、たくさんのお子さんを受け入れることとなりました。現在それがピーすの放課後等デイサービス事業につながっています。

2年前の冬、放課後等デイのスタッフから「支援がとても難しいお子さんがいる」と私に連絡が入りました。すぐに聞き取り・観察をし、スタッフと検討するものの、その難しさに心底困り・悩みました。そ

の私の頭にふと浮かんだのが「北摂杉の子会に相談できるといいな」。そこで、大阪手をつなぐ育成会の縁を頼って依頼しました。この連絡に北摂杉の子会のご担当者は機敏に対応してくださり、松上理事長も堺市までお越しくださり、結果コンサルテーションを受けることが決まりました。コンサル開始から1年半、支援困難なケースに具体的な助言がいただけることは、職員の安心感につながっています。また、助言を元実践することで職員が育成されることに、私自身も喜びを感じるという、ぴーすにとって『なくてはならないもの』になっています。

### ■ 手をつなぐ育成会について

私が手をつなぐ育成会に入会したのは、息子が4歳の時です。その頃の日本の障害福祉は「措置から利用契約へ」という話題で紛糾していました。なりたて障害児親の私には「何が良いのか、何が変わるのか」もわからないまま、その激しい論議を聞きつつ、時代の流れにのって、息子が10歳の時に開始された支援費制度をすぐに利用開始。そこから利用するサービスを広げ増やして20年。数多くの支援者にサポートしてもらったおかげで、フルタイム就労するひとり親として安定した子育て→介護生活を送ることができています。

思えば、私より少し前の自閉症の子どもは、親の育て方のせいと言われ、その子育ては家族だけで行わなければなりません。私はちょうど支援技術や福祉制度が大きく変わり広がる時期に子育てすることができました。本当に運が良かったと思うと同時に、先輩の家族・支援者が様々なことを積み上げてくださったことに、心から感謝しています。

育成会の会員としては、地元の堺市の会長をしながら、平成20年に大阪手をつなぐ育成会の理事になり、昨年（令和5年）に理事長に就任いたしました。その間、全国組織の権利擁護委員や家族支援プロジェクトの開発委員もさせていただきました。今思うと、早い段階から素晴らしい先輩たちに出会い、知的障害の親として育てていただきまし

た。このことにも深く感謝しています。

### ■ 今、思うこと

育成会の会員として振り返ると、最も印象深いことは、津久井やまゆり園の事件の後の久保会長（当時）の声明です。あれには本当に救われました。また、障害ある本人へのメッセージに「もし誰かが『障害者はいなくなればいい』なんて言っても、私たち家族は全力でみなさんのことを守ります。ですから、安心して、堂々と生きてください。」という言葉には、今でも涙が出ます。同時に、この事件まで、息子の問題行動を自分の苦労だと表現し、母という自分に同情してもらうような伝え方をしてきたことを、大いに反省しました。

確かに、息子との暮らしはしんどいことが多いです。でも、そのしんどさと同じくらい、楽しいこと・おもしろいこと・幸せなことも多い。それなのに、しんどさばかり表現してきた自分に憤りを感じました。あの声明を読んだ日から私は、息子と暮らす幸せを表現することを強く意識するようになりました。ただ、力不足で、今もまだうまく言葉で表現することができません。言えるとしたら、最近ようやく「私は自閉症者の親でよかった」ということです。私の人生をこんなにドラマチックにしてくれて、日々、大笑いできること、感心すること、心から感動することを与えてもらっています。もう少ししたら、もっとうまく表現できるようになれるかもしれません。その時にはまた、この『地域に生きる』に執筆させてください。

終わりに、私と息子の人生に、安心と豊かさを運んでくださっているすべての人に感謝いたします。これからも、微力ですが、息子や仲間の皆さんのためにがんばります。





## 家族が家族を元気にするために ～ 同じ思いを抱える親だからこそできるサポート～

大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか  
主任 かりや さやか 沙也香

### ■ はじめに

発達障がいは周囲から気づかれにくく、「親の子育てのせい」「本人の努力不足」などの誤解を受けやすいため、発達障がいのある子どもを育てる家族は養育のストレス、不安、孤立感など様々な悩みをもつことがあります。そこで、ご家族への支援の仕組みを創ることが重要になります。

家族支援の1つであるペアレント・メンター(\*1) (以下、メンター)によるサポートは、同じ親としての共感性が高く子育てに悩む家族の将来の見通しになる等、専門家とは違った効果があることで、全国的にも注目されています。

大阪府でも、発達障がい児者のご家族への支援体制の充実を図るため、平成26年度から大阪府ペアレント・メンター事業(以下、メンター事業)を実施しています。この事業では、メンターが、子育てに関する経験談の紹介や、親目線での情報提供等の活動を通して、発達障がいのあるお子さんがいらっしゃるご家族をサポートしています。メンター自身の辛かった体験を振り返り整理して他者に話すことは容易ではありません。その中でメンターの「同じ思い・体験をしている他の家族の役に立ちたい」という気持ちで活動いただいております。実際に地域で悩んでおられるご家族のサポートの一助となっています。アクトおおさかは、事務局としてこの事業の意義などを広く市町村に伝えていくと共に、メンターが安心して活動し続けるための仕組み作りが必要でした。

(\*1) ペアレント・メンターとは

発達障がいの子育て経験のある親であって、その育児経験をいかし、子どもが発達障がいの診断を受けて間もない親などに対して相談や助言を行う人(厚生労働省資料より)

### ■ 実施内容

#### 1. 家族支援の重要性や活動を広げていくための工夫

事業啓発のためのパンフレットを作成し、アクトおおさかのホームページにも公開しています。また、毎年大阪府が開催する発達障がい児者支援に係る市町村行政向けの説明会で、家族支援の重要性や事業について、写真や動画を用いて実際の活用のイメージを持っていただけるように説明しています。

The image displays several key documents related to the Parent Mentor Program. At the top left is a flowchart titled 'ペアレント・メンター制度までの流れ' (Flow of the Parent Mentor System), detailing steps from application to support. To its right is a brochure titled '同じ思いを抱える親だからこそできるペアレント・メンターによるサポート' (Support from Parent Mentors who share the same feelings), which explains the program's benefits. Below these are two more documents: one titled '大阪府ペアレント・メンター事業' (Osaka Prefecture Parent Mentor Program) and another titled 'ペアレント・メンター制度の活用' (Utilization of the Parent Mentor System), both providing detailed information about the program's goals and implementation.

## 2. 派遣依頼から活動後までの流れを仕組みとして確立

活用の流れをマニュアル化し、事務局であるアクトおおさかのどの職員が対応しても統一した丁寧な対応ができるようにしました。



## 3. メンターのサポートの充実と活動の幅を広げる工夫

登録後も活動に不安があり、活動までのハードルが高く感じておられるメンターも少なくありません。そのため、研修や交流会では実際の活動のイメージをもってもらえるような演習や、実際に活動されている先輩メンターの動画を活用させていただく等メンターの

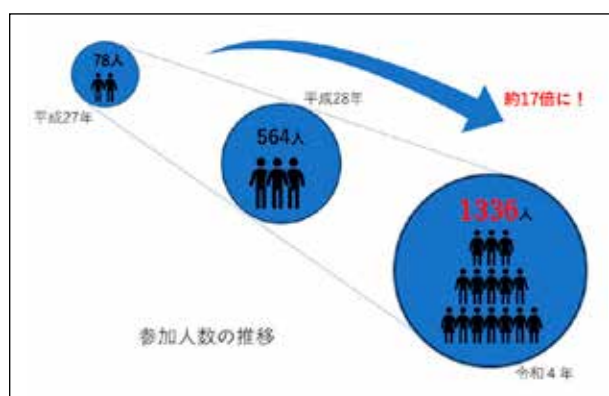
声を参考にしながらプログラムを考えています。

また、実際の活動では活動が決定してから終了後まで、事務局が依頼元とメンターの間に入り調整したり、初めてでも活動しやすい少人数の座談会を増やす等メンターが活動しやすい場を作り出す工夫もしています。

### ■ 実施から得られた成果

#### 1. 依頼件数や依頼元種別の増加

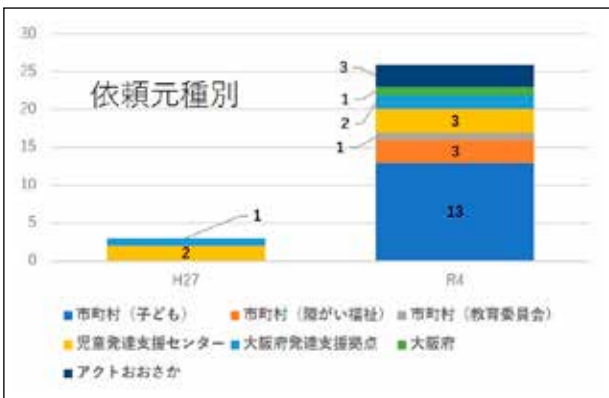
依頼件数は平成27年から約9倍の26件に、参加人数は約17倍に増え、去年は1300人以上の方の参加がありました。また、依頼元種別も市町村の子ども課や障がい福祉課のみならず、様々な窓口からの依頼も増え、活動の幅も年々広がっています。アクトおおさかが管轄している41市町村のうち、24市町村がこの事業を活用しており、またリピート率も69%となっています。



### ペアレント・メンター養成研修/交流会

研修	目的	対象者	内容
ベーシック	新規登録者の養成 (メンター活動に必要な基礎的な知識の習得)	新規登録希望者 ※団体NWに加盟する親の会に所属し2年以上活動をされている方 ※所属する親の会の推薦のある方	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障がいの基礎知識</li> <li>発達障がいの家族支援</li> <li>地域のリソースのまとめ方</li> <li>話の聴き方の留意点</li> <li>ロールプレイ</li> </ul>
フォローアップ	登録メンターのフォローアップ	メンター登録している方	R4年 <ul style="list-style-type: none"> <li>行政説明</li> <li>メンターとして聴くこと・伝えること</li> <li>自分の体験を語る</li> <li>演習(質疑応答のロールプレイ)</li> </ul>
スキルアップ	登録メンターのスキルアップ	メンター登録している方	R4年 <ul style="list-style-type: none"> <li>演習「やってみようメンター体験～少人数座談会編～」</li> <li>報告、まとめ</li> </ul> 大阪府の現状に合わせて内容を検討
交流会	登録メンター同士の交流・意見交換の場	メンター登録している方	R4年 <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度メンター活動報告</li> <li>依頼元・メンター・事務局3者での対談</li> <li>意見交換会</li> </ul> メンターからの意見を参考に内容を検討

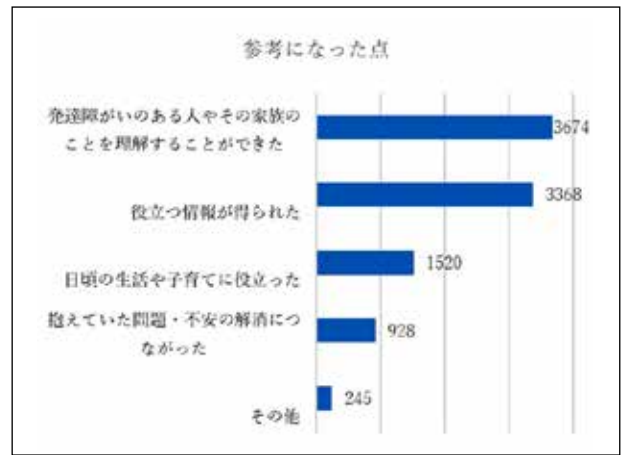
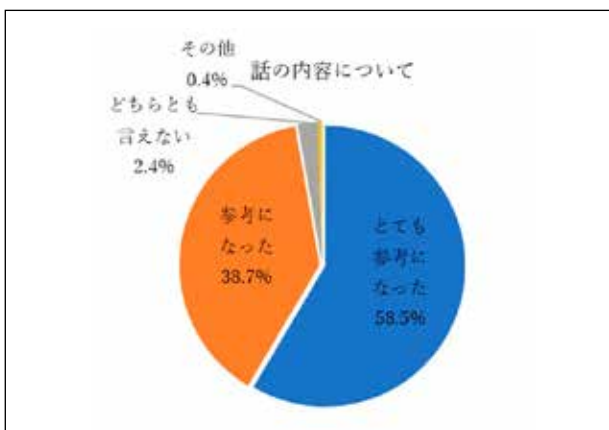
・日本ペアレント・メンター研究会の協力を得て実施



上記より、メンター事業は着実に大阪府内に普及しており、活動先も広がっています。また、リピート率が高いことから、満足度の高さが伺えます。

## 2. アンケートから見えた成果

平成27年～令和4年の参加者アンケートの結果では、話の内容について、「とても参考になった」「参考になった」が約97%を占めており、大変好評でした。参考になった点としては、「発達障がいのある人やその家族のことを理解できた」「役立つ情報が得られた」という感想が多く聞かれています。また、自由記述では、下記のような感想が得られました。



### ● ご家族の感想(一部抜粋)

- 気持ちがすごくよくわかって途中で涙が出た。子どもの事を話せる仲間を増やして、この先も前向きにやっていこうと思った。
- 障がいをもって成長していく過程でどうしていったらいいのか先が見えない不安の中、少し明かりが見えた気がした。
- 今現在の子供と自分のことしか見えていない状態だったのが、すこし先のことも考えられるきっかけをもらえて、とても安心した。
- 自分の子を思い浮かべ、今後の心配事や今の迷いも改めて考える中で不安も少なくなり、参考になる大切な話が沢山聞けた。

ご家族からは、同じ親という立場のお話で共感できた、不安が解消された、将来の見通しをもつことができたという意見が多く聞かれ、今後の子育てをする上での安心に繋がっていることが伺えました。

### ● 支援者・教育機関の感想(一部抜粋)

- 医師や教授から教わる発達障がいの理解だけでは得られない具体的な心を打つアドバイスがたくさんあった。
- 共に生きてきたご家族の思いを聞くことで、自身の仕事への姿勢を改めて正すことができたように思う。
- ご家族の方が導き出されてきた関わりや支援を、しっかり次へと繋げていく重要性を感じた。今後は、保護者の方やご本人と関わる全ての人と連携が取れた支援をしていきたい。
- 実際の支援を長年にわたって知ることができ、今日あるものの背景がどのような家庭の上に成り立っているのかを考えるきっかけになった。



支援者からは、実際にご家族がどのような思いで子育てされてきたかというお話を初めて聞いたという意見が多く聞かれました。メンターの話を書くことで、今までの支援の振り返りや、今後の支援のヒントに繋がったという感想も多く、今後のご家族やご本人の支援に繋がっているようです。

活用した市町村行政・教育機関等の担当者からは、実体験に基づくお話になるため、ご家族も共感しやすく、説得力があるというご意見も多く聞かれました。また、メンターのお話をご家族、支援者のどちらにも聞いてほしいというご意見も多く、継続して活用したいという声も聞かれています。

活動したメンターからは、自身の経験談を話すことで逆に元気をもらえたという感想も聞かれています。参加者のアンケート結果も共有しており、自身の経験を話すことで役に立ったという実感を得ることが、また活動したいという意欲に繋がるという声もいただいています。

### 3. メンターへの成果

アクトおおさかのどの職員が対応しても統一した丁寧な調整をすることで、メンターからは、「安心して活動できた」という意見が多く聞かれました。また、依頼元の市町村等からも、調整がしやすかったという意見が聞かれ、事務局と依頼元が密に連携することも、活動するメンターの安心に繋がっています。また、研修や交流会のプログラムを工夫したことで実際の活動等のイメージがもて、まだ活動したことのないメン

ターの安心や、活動への意欲に繋がっているようです。さらに、活動した経験のあるメンターも他のメンターの活動の様子を知る機会になり、情報交換を通して次に活動する時の参考にされるなど、参加して良かったという声も多く聞かれています。

### ■ 大阪府ペアレント・メンター事業を通して

アンケートの感想からも分かるように、同じ思いを抱える親であるメンターのお話には説得力があり、話を聞いたご家族の不安の解消や将来の見通しをもつことに繋がっています。ご本人の一番身近にいるご家族が少しでも不安を解消し、見通しをもつことは、結果としてご本人へのサポートに繋がってきます。支援者もご家族の思いを理解することで、家族支援の重要性を考えたり、これまでの支援を振り返ったりと今後のご本人への支援に活かしていくきっかけになっています。また、参加者だけでなく、メンターも自身の経験談を話すことで、エンパワメントされている様子も伺えました。

今後も同じ思いを抱える親だからこそできるこの事業の意義を伝え、広く大阪府内で活動の場を広げていくことで、さらなる地域の家族支援の充実に繋がっていきたいと思います。

アクトおおさかはこれまでも親の会との繋がりを大切にしてきましたが、この事業を通してより親の会との繋がりが深まり、ご家族との連携に支えられていることを改めて感じています。この場を借りて、日頃から連携やご協力いただいております親の会並びにメンターの皆様に感謝申し上げます。

## PECS でつながるコミュニケーションの輪 ～ 家庭・教育・地域との連携 ～



豊中市立児童発達支援センター  
通所部門  
主任 渡邊 佳奈



豊中市立児童発達支援センター  
通所部門  
支援員 浮田 千紗子

### ■ 目的

北摂杉の子会では法人全体としてPECSを中心とした表出コミュニケーション支援を行っています。発達支援あゆみ（※令和5年度に豊中市立児童発達支援センターに移転）でも、正職員は全員PECSレベル1ワークショップを受講し、事業所内で表出コミュニケーション支援を行っています。事業所内で使用していくことで、利用児はPECSという表出手段を得、活動の中で欲しい物の要求やコメントをして他者とコミュニケーションを取ることができますが、自宅や他の療育施設、また所属園や学校ではあまりPECSが使用されておらず、事業所内での支援に留まりがちでした。そのため、利用児は当事業所外ではPECSを使用してコミュニケーションを取る機会がありませんでした。また、事業所内の職員も、利用児の事業所外での普段の生活（家庭の中・地域での買い物・就園後や就学後）での表出コミュニケーションについてイメージを持つことが難しかったです。しかし、事業所の利用児として支援できる時間には限りがあります。利用児が、普段の生活の中で周囲の人々と円滑にコミュニケーションを取り、様々な場面で意思決定をおこなっていくため、家庭・教育・地域とつながってコミュニケーション支援を行っていく方法を模索しました。

### ■ 方法

#### ①家庭との連携

まずは家庭での導入のどこに難しさを感じているのか、保護者と確認しました。「何から始めたら良いのか分からない」「ブックの作り方が分からない」という声があったため、あゆみの親子通所を利用してPECSブックの作成を職員と一緒に行いました。また、「家のどの場面で用いたら良いのか分からない」という声もあったため、少集団療育や個別療育の中でのPECS使用の様子を見てもらいながら家庭で使用できそうな場面を具体的に保護者に提案しました。その後の家庭での取り組みの進捗もこまめに聞き取り、家庭での実践について状況を共有しました。

#### ②教育との連携

発達支援あゆみでは、令和3年度より、大阪府立寝屋川支援学校とPECSに関する合同研修を行っています。令和4年度は、寝屋川支援学校でお互いの実践の報告とPECSの取り組みを進めていくための工夫についてディスカッションを行いました。就学前後のPECSの支援について、お互いに情報共有する機会を持ちました。

#### ③地域との連携


利用児はこれまで事業所内のみでPECSを使用していたので、スーパーの買い物活動を通して、事業所外でPECSを使う機会を設定しました。また、

発達支援あゆみの取り組みの中でも、事業所外（地域）で実践した例がなかったためPECSの普及の目的も兼ねて実施しました。買い物手順の際に、「袋、ください」と地域の方とPECSを使ってコミュニケーションを取る場面を設定しました。

## ■ 結果

### 定性評価

#### ①家族との連携

実際に家庭でPECSを取り入れたご家族から、お父さまが「適切に要求を伝えられるようになった」や「祖母など母以外の家族に要求を伝えられるようになったので、預けることができるようになった」と報告がありました。以前は「勝手に冷蔵庫を開けて食材を取り出していたが、PECSを導入してからは欲しいものの写真カードを選び、大人に手渡して要求するようになった」ことや「選択肢のものがないときに“マーク”を使ったり、今できないことを“待つカード”で伝えたりすることで、保護者とお父さまとのコミュニケーションがスムーズにできるようになった」とのエピソードが聞かれました。

#### ▼ 保護者作成のPECSブック・カード



#### ②教育との連携

寝屋川支援学校との交流研修では、発達支援あゆみと支援学校とで事例発表を行いました。交流研修を通して、就学後の学校現場でPECSがどのように活用されているのか知り、イメージを持つことができました。ディスカッションでは、それぞれの事業所での支援や職員間でPECSをどう共有しているかなどを話し合い、職員のモチベーションに繋がりました。

#### ▼ 支援学校での発表の様子



#### ③地域との連携

地域でのPECSの実践では、スーパーへ買い物に行き、買い物手順の中にPECSを使ってレジ袋を要求する場面を設定しました。あらかじめ、スーパーの店員の方に発達支援あゆみの利用児と買い物支援の活動として来店することを伝え、実施しました。買い物活動には、年中・年長クラスの利用児8名中7名（1名は欠席のため不参加）が参加し、小グループに分けて行いました。そのうち、3名がPECSを使ったレジ袋の要求をしました。3名ともレジの際にPECSを使って要求を伝えると、

レジ袋をもらうことができました。利用児にとっては事業所外で地域の人にコミュニケーションをする経験になり、地域の人にとってはPECSに触れる機会になりました。

## ■ 定量成果

PECSブック・絵カードの作成、家庭でのトレーニング実施、あゆみでトレーニングをして自宅で活用した人数（令和4年度PECSの取り組み）

○単独通所事業：5名／14名

○個別療育事業：4名／26名

（※全利用児の中には、口頭でのやりとり・コミュニケーションが可能なため、日常生活においてPECSを導入しなくてもよいと判断した児童を含む）

発達支援あゆみとしては、9名の利用児とご家族がPECSを知り、家庭での取り組みにつなげることができました。

## ■ 考察

法人が大切にしてきた“地域に生きる”という理念

に則り、PECSを用いたコミュニケーションを事業所内だけでなく、利用児の日常生活の中でおこなうことを目標に取り組んできました。発達支援あゆみは現在、就学前までの支援施設であり、地域移行を目指しているため、家族との連携は必須であると考えています。まずは家庭の中で日常的にPECSを使用していくことで、発達支援あゆみ修了後に関わる支援者にもPECSが伝わり、表出コミュニケーションの重要性や、その人に合ったコミュニケーションをおこなうことが大切であると知られていくことにつながると思います。教育分野とも交流をおこない、次のライフステージでの生活や支援の見直しを持つことも非常に重要なことでした。PECSというツールでつながり、同じ取り組みをしている支援者と出会うことは、我々職員にとっても、とても心強かったです。地域生活の中でPECSを使うことで、ご利用者に関わる支援者以外の人にとってもPECSを知るきっかけになると考えます。地域との関わりを通して自閉症などの発達障害の方々への理解が広がることを信じ、今後も支援を続けていきたいです。

## 絵カード交換式コミュニケーションシステム (PECS)®

### PECS®ってなに？

アンディ・ボンディ (Ph.D.)とロリ・フロスト (MS.CCC-SLP)によって開発されたコミュニケーション支援システムです。

PECSは6つのフェイズ（段階）から成り立っており、対象者が一枚の絵カードを“コミュニケーションパートナー”に渡すところから始まります。絵カードを渡されたコミュニケーションパートナーはすぐにその交換を要求として受け取り、要求を叶えてあげます。次に、絵カードの弁別（認識）を教え、そしてどのように文を構成するのかを教えます。さらに上のフェイズでは、対象者は修飾語を使ったり、質問に答えたり、コメントしたりすることを教わります。PECSの最優先の目標は機能的コミュニケーションを教えることです。

研究の中では、PECSを使っている中で発語が出るようになった生徒もいることがわかっています。音声表出機器 (SGD) に移行する方もいらっしゃいます。PECSがエビデンスベースの介入であり、PECSの効果を実証する研究は沢山発表されており、増え続けています。今現在世界中で150以上の研究が発表されており、PECSの効果を裏付けております。

ピラミッド教育コンサルタントオブジャパン(株)  
オフィシャルホームページより抜粋  
<https://pecs-japan.com/>

# 韓国の福祉関係者との交流



経営戦略企画室 室長 星 明 聡 志

## 1. はじめに

機関誌第79号(2019年10月号)でご報告した韓国の福祉関係者の皆さんとの交流ですが、新型コロナウイルスが流行した以降はお互いを行き来することができずにいました。ただ、LINEグループで繋がっていたことをきっかけに連絡を再開し、今回、韓国より11名の皆さんが高槻に来てくださいました。

来日くださった2日間の交流について、ご報告させていただきます。

## 2. プログラム概要

再会は、5月22日と23日に実現しました。2019年にも来てくださった韓国の清州精神健康センターのキムさん先導のもと、今回は11名の方が高槻にお越しくださいました。11名の皆さんは清州市に限らず近隣地域の福祉施設からも参加され、全部で9ヶ所の施設から日本へ来られました。

2日間は以下のプログラムで開催し、初日は自閉症の特性理解から強度行動障害支援の支援実践等をご紹介します、2日目は通所施設やグループホーム、入所施設を見学していただきました。

## 3. 初日の内容と意見交換

1日目は、以下の講義を中心に日本の取り組みを紹介させていただきました。

### <1日目のプログラム>

- 自閉症の特性理解
- 発達障害者支援センターの取り組み
- 強度行動障害の支援実践
- 質疑応答
- 懇親会

講義ごとの質疑応答では、韓国の皆さんよりたくさんのご意見をいただきました。全てではないです

が一部をご紹介します。

### <支援者の育成>

初日は強度行動障害への支援実践を話題にしたこともあり、それに対するご質問が多くありました。特に、支援者としての育ちや学びへの質問がいくつかあり、法人からは「スーパーバイザーの重要性」をお伝えしました。定期的に困難事例等をSV(スーパーバイズ)し、連携の大切さや支援者を孤立させないことの大切さが支援者の育成に繋がることをお伝えしました。



### <認知症と知的障害>

韓国でも、知的障害を伴う認知症の方の支援に課題があるとのことでした。認知症と知的障害は分かりにくく、支援の難しさがあるようで、日本の国立のぞみの園での研究を紹介し、認知症と知的障害が区別できるようになってきたこと、自閉症支援と認知症の支援は似ているため支援にも取り組みやすいのではないかといった意見交換がありました。また、障害福祉制度、もしくは介護保険制度のどちらを使うかについての質問もあり、日本の制度の説明もした上で、利用者の方のそれぞれの状況によってケースバイケースで制度利用していることも紹介させていただきました。

### <学校との連携>

子どもたちの教育環境にも質問があがり、韓国は日本のような普通学級、特別支援学級、特別支

援学校等の選択肢があるのと同じくして、子どもたちの状況によって選べる仕組みになっているとのことでした。ただ、学校の先生との連携は課題もあるようで、日本も同じであることを伝えた上で高槻市教育委員会との連携や取り組み例をご紹介させていただきました。



#### 4. 施設見学と意見交換

翌日の2日目は、以下の3施設を見学してきました。皆さんの熱心な姿勢に触れながらの見学となりました。

##### <2日目のプログラム>

- 通所施設「ぷれいす Be」
- グループホーム「レジデンスなさはらもとまち」
- 入所施設「萩の杜」
- 質疑応答と意見交換

見学後は、ぷれいす Beのカフェに戻って珈琲等を楽しんでいただきながら、質疑応答と意見交換の続きを行いました。2日目ということもあって話題は多岐に渡り、「日本の制度や仕組み」「採用や人材育成」「利用者の高齢化」「グループホームの入居支援」「利用者の生活支援」「法人の理念や哲学」など、質問は途切れることなくたくさんいただきました。私たちも質問に答えながら韓国の事情や取り組みも聞かせていただくことができ、貴重な情報交換の機会となりました。



#### 5. 定期的な交流にむけて

今回は、2019年以來の交流でもあり、以前とは違う職員の皆さんとの新たな出会いもあって、お迎えした2日間は私たち法人にとっても充実した時間となりました。国が違えば制度や文化も違い、取り組む内容も様々でしたが、自閉症の特性は変わらないこともあり、お互いの交流は人材育成にとっても重要になると感じています。

今回、来日くださった理由のひとつに、当法人との業務契約をするためでもあってお越しくできました。調印するための契約内容をお互いで確認することもできたため、次回は私たちが韓国へ行き、そこでの調印をした上で定期的な交流をスタートさせたいと考えています。

今回の2日間では、韓国好きの法人職員も参加し、韓国の皆さんとの交流を楽しんでいました。どちらかというと韓国の流行りや観光等の遊びスポットについての情報交換が多めになっていましたが、仕事もプライベートも含めた交流がますます盛り上がっていきそうな予感です。

個人的には、自閉症支援や強度行動障害支援は日本も韓国も似た環境に感じます。今後お互いの支援実践を伝え合うなかで、お互いの学びは利用者の方への貢献へと繋がると感じ、定期的な交流をしっかりと深めていきたいと思います。

韓国の皆さま、また会える日を楽しみにしております。





# 杉の子 いいね!

凸レッツ凸  
クリエイティブ  
アート!

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動(絵画・詞・陶芸等)を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

## ぷれいす Be

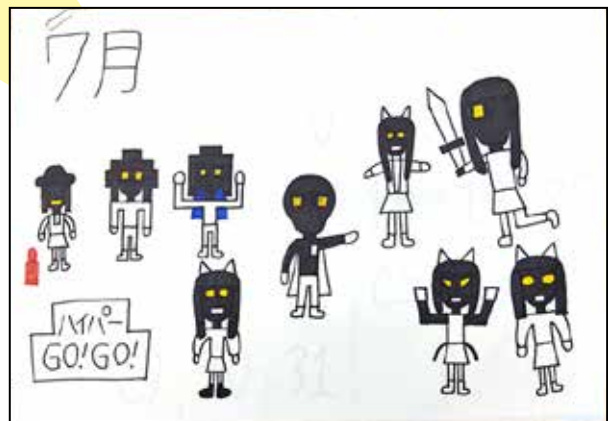
クリームあんみつ



## こいのぼり



## カレンダー



## 看板づくり



# 掲示板コーナー

(令和6年3月から令和6年5月まで)

## 法人事業部 掲示板

3月	行 事
1日	医療連携推進室会議
2日	内定者ご家族対象法人説明会
4日	第151回理事会 第1号議案 ジョブサイトひむろ建替工事(2期工事)の入札スケジュールの件 第2号議案 ジョブサイトひむろ建替工事(2期工事)に係る公告事項の件 第3号議案 ジョブサイトひむろ建替工事(2期工事)に係る予定価格の決定の件 第4号議案 滋賀銀行からの長期運営資金(福祉医療機構から借入するまでのつなぎ資金)借入の件
4・18日	経営会議
4日	マイナビ大阪就職フェア
6日	法人事業部管理会議
8日	第8回新入職員研修 「1年間の振り返りと次年度に向けて」
8・22日	運営会議
9日	大阪府社会福祉協議会就職フェア
11日	マイナビ京都就職フェア
19・30日	法人採用説明会
23日	マイナビ福祉介護就職セミナー(録画配信)
25日	第152回理事会 第1号議案 法人組織再編の件 第2号議案 諸規則、規程類の改正の件 第3号議案 令和6年度 事業計画(案)の件 第4号議案 令和6年度 予算(案)の件 第5号議案 定時評議員会開催の件 第6号議案 理事長職務執行状況報告の件 第7号議案 (仮称)レジデンスはぎのみり施設整備の件 第8号議案 (仮称)レジデンスはぎのみり施設整備に関して 造成工事業者と設計管理業者を選定する件

4月	行 事
1日	入社式(安満遺跡公園にて)
2日	自閉症啓発デー(生涯学習センターにて)
5日	医療連携推進室会議
8・22日	経営会議
11日	法人事業部管理会議
12・26日	運営会議
15~17日	法人採用一次面接
20日	令和6年度 第1回法人研修 ・令和6年度年度方針について ・第5次中期計画の進捗報告 ・資格取得表彰、eラーニング表彰 ・新入職員紹介 ・PECS実践報告会 ・職員交流企画
25日	権利擁護虐待防止委員会
25・26日	法人採用二次面接

5月	行 事
2日	法人事業部管理会議 医療連携推進室会議
7・10日	経営会議
7日	第153回理事会 第1号議案 ジョブサイトひむろ増築工事(2期工事)請負契約に関する件
10日	第1回新入職員研修 「法人設立の経緯、理念、沿革について」「社会人になるにあたって」
10・24日	運営会議
27日	第154回理事会 第1号議案 後任理事候補者選出の件 第2号議案 理事長報酬承認の件 第3号議案 事業報告の件 第4号議案 決算の件 第5号議案 監事監査の件 第6号議案 補正予算の件 第7号議案 理事長職務執行状況報告の件

(松本 記)

マイナビ大阪就職フェア



法人採用説明会





萩の杜 掲示板

暖かい気候になりたくさんおでかけをしました



萩の杜では音楽サークルや室内運動にも定期的に取り組んでいます



休日にはドーナツや牛丼をデリバリーして美味しくいただきました



(松本 記)

## ジョブサイトひむろ掲示板

### 鏡の中のキラキラなわたし

今年もジョブサイトひむろのひな祭りがやってきました。それぞれの好きなおしゃれを楽しみながら、とびきり素敵な写真を撮って素敵な思い出を作る日です。そわそわワクワクしながらメイクをする皆さんの表情は、キラキラと輝いていました。



素敵な笑顔で  
はいチーズ！



少し照れながらもいつも以上の  
笑顔を見せてくださる皆さん。  
素敵な写真がたくさん撮れました！



### てんとう虫のブローチ

涼しい風とぼかぼかな日差しが気持ちのいい日。お散歩中にちょこんと帽子にとまったてんとう虫。春の訪れを体感した瞬間です。

Spring

ひむろの

“春”

特集



### こいのぼりフェスタ 2024

芥川のこいのぼりフェスタを今年も見に行きました。空におよぐ1000匹のこいのぼりの姿は圧巻で、とても印象的でした。



### いちごとれた！

いちご狩りをしに、THE FARM 茨木へ。自分でじっくり選びとったいちごは格別に美味しかったです。

### 花見×アート @万博記念公園

クリエイティブベースで万博記念公園へお花見へ。ピクニックをしてのんびりしながら、太陽の塔を絵に描いたり、お花見とアートを満喫しました。



### ひむろの春アート

山田卓史さんが描いた作品『松居さん』です。4月にひむろで個展を開催した山田さん。大好きなスタッフがモチーフの絵を筆頭に、暖かくて不思議なタッチの作品達が会場を彩りました。



(井上 記)

## アクトおおさか Topics!!

### ～R6年度支援者対象公開講座のご案内～

アクトおおさかでは、発達障がいの普及・啓発の取り組みの一つとして、毎年公開講座を開催しています。今年度は2回の公開講座を予定しており、1回目は支援者を対象に、2回目は府民の方を対象に開催します。今回は支援者対象の公開講座のご案内をさせていただきます。

今回の支援者対象公開講座では、鳴門教育大学大学院学校教育研究科 教授であり同大学発達臨床センター 所長の小倉正義先生をお招きし、「発達障がいといじめ～特性理解の視点から～」というテーマで、発達障がいといじめの関連や特性理解に基づいた介入方法、チームアプローチの重要性などについてお話いただきます。発達障がいの特性理解を共通言語としたご本人への関わりや環境調整のポイントについて、支援者の皆様と考える機会にできればと考えております。

大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか主催 令和6年度支援者対象公開講座

## 発達障がいといじめ

### ～特性理解の視点から～

発達障がいの特性は見えにくく、その方の置かれた環境によって特性の現れ方や困りごとも様々です。日々の支援においては、ご本人を取り巻く周囲の人々がご本人の特性を理解した上で関わることも、ご本人の特性に合わせて環境を調整することがとても大切になります。今回のセミナーでは、鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授兼同大学発達臨床センター所長の小倉正義先生をお招きし、ご著書「発達障がいといじめ 発達の特異性に応える予防と介入」より、発達障がいといじめの関連について特性理解に基づいた介入方法、チームアプローチの重要性などについてお話させていただきます。皆様、ぜひお申込みください。

**日時** 2024年8月26日(月) 14:00～16:00  
(受付13:30～)

**会場** 大阪産業創造館 4階 イベントホール  
住所：大阪市中央区本町1-4-5  
+ Osaka Metro 中央線「淡路駅」 新1号出口より徒歩5分  
+ Osaka Metro 東淀川線「淡路駅」 新12号出口より徒歩5分

**講師** **小倉正義 先生**  
鳴門教育大学大学院学校教育研究科 教授  
鳴門教育大学発達臨床センター 所長  
  
近畿大学発達臨床科学教育研究センター特任研究員、鳴門教育大学大学院学校教育研究科講師・准教授を経て、講師、大学で教鞭をとりながら、発達心療士/公認心理師として様々な現場・地域で発達支援を行っている。著書に『「フットボール」文字の魔法で学ぶ「コミュニケーション」』、『発達障がいの子の気持ちのコントロール』、『発達障がいの子の気持ちの魔法で学ぶ「コミュニケーション」』、『発達障がいといじめ 発達の特異性に応える予防と介入』（学研社・編著）などがある。

**対象・定員** 支援者 220名  
(教育関係者含む) **参加費** 無料

**申込方法について** QRコードもしくはアクトおおさかHPからお申込みください。  
アクトおおさかHP: <https://act-osaka.org/>

申し込み締め切り 2024年 8月 19日(月)

\*定員に達した場合は、締切日より先に申込み終了となる場合がございます。  
\*サイトに繋がらないなど、WEBでのお申し込みが難しい場合はお問い合わせください。  
\*送付メールの住所が設定されている場合は、ドメイン (@osaka.com) の変更設定をさせていただきます。  
\*申込後に上記ドメインのアドレスより自動返信メールにて申込み内容のコピーが届きましたら、お申し込みが完了しております。メールが届かない場合はお問い合わせください。

**お問い合わせ** 大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか  
住所：大阪市中央区本町1-2-13 白鷺ばんらいビル10階A  
TEL：06-6966-1313 (担当：業務)



※本講座は定員に達したため、申込を締め切らせていただきました。たくさんのお申し込みをありがとうございました。

※府民の方対象の公開講座につきましては、日時やテーマ等の詳細が決定次第、アクトおおさかのホームページ等でご案内いたしますので、よろしくお願いたします。

## ～事業のご紹介～

アクトおおさかでは、センター開設当初から発達障がいのある方やご家族からの直接的な相談をお受けするとともに、発達障がいのある方やご家族を支援している支援者のサポートや、発達障がいのある方が暮らしやすい地域づくりのための間接支援にも重点を置いた事業を展開してきました。今回は2つの事業をピックアップしてご紹介いたします。



- 家庭支援の充実：ペアレント・メンター事業
- 関係機関とのネットワーク構築：連絡協議会など
- 普及・啓発：府民や支援者対象の公開講座・研修
- 支援体制の構築や人材育成：コンサルテーション事業

### ○大阪府ペアレント・メンター事業

大阪府では、発達障がい児者のご家族への支援体制の充実を図るため、平成26年度から大阪府ペアレント・メンター事業を実施しています。この事業では、発達障がいのあるお子さんを育ててこられた先輩保護者であるペアレント・メンターが、子育てに関する経験談の紹介や、親目線での情報提供等の活動を通して、発達障がいのあるお子さんがいらっしゃるご家族をサポートしています。

### ○発達障がい者地域支援力向上事業

発達障がい者地域支援マネージャーを市町村（自立支援協議会など）に派遣し、地域の発達障がい児者支援体制整備についての助言などを行っています。市町村行政を中心に、障がい福祉に留まらず、関連分野（子育て・教育・労働等）と連携しながら、市町村の支援力向上と支援体制の機能強化、ライフステージを通じた支援体制の構築を目指しています。

毎年大阪府は各市町村に発達障がい児者支援の取り組みについての理解を深めていただくことを目的に説明会を実施しており、アクトおおさかも上記事業を直接説明するために参加しております。今年度も多くの市町村行政の方々のご参加がありました。引き続き、地域の支援者の皆様と連携しながら、ご本人やご家族のニーズをもとにした事業展開を進めてまいります。



# 児童発達支援部

## a n



インスタはじめました♪



つぎどうぞ!



ライダーどれ好きなん?

## Link



手順を見ながらブロックをしたよ!



先生と順番交代で魚つり!

## Will



楽しくセッション♪



時間の組み立ての練習



先生と一緒に勉強

## 豊中市立児童発達支援センター[通所部門]



2人で協力してタワーを作ったよ!



しゃぼん玉



みんなでおわりの会のうた♪



絵の具あそび

(西野・上口・瀬川 記)

ジョブサイトよど/ジェイ・ブランチよど掲示板

ジョブサイトよど

♪♪♪♪♪ お買い物 ♪♪♪♪♪



★ ★ ★ クッキング ★ ★ ★

☀ ☀ ☀ 創作活動 ☀ ☀ ☀



ジェイブランチよど

「十三商店街お昼ご飯買い出しツアー」

商店街を探索！  
それぞれ気になるお店でご飯を買いました♪

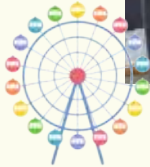


「ディスコパーティー」

ミラーボールが回る中、DJの音楽に合わせて歌って踊って楽しみました♪

(西澤・桑田 記)

ふれいすBe 掲示板



エキスポシティ



カフェタイム



さくら



京都水族館



鯉のぼり



和菓子買いました

(八木・西垣・峠 記)

## ジョブジョイント (JJ) おおさか・ジョブジョイントおおさか -たかつきランチ- 掲示板

3月	行	事
5日	ライフスキル倶楽部 (調理: おにぎりと味噌玉づくり) (十三)	
11日	企業実習 (スポーツ用品店でのバックヤード業務)	
12日	企業見学 (製薬会社の特例子会社にて事務補助や清掃)	
15日	避難訓練 (高槻)	
16日	土曜クラブ/OB会 (勉強会)	
19日	スーツデー (十三)	
28日	勉強会 (しごと) キャリアシュミレーションゲーム	

4月	行	事
1日	自立訓練 新プログラム ジョブリサーチスタート (高槻)	
3日	企業実習 (大手日用品メーカーにてトラベルセットの作成)	
15日	企業実習 (インテリア雑貨店での商品陳列)	
11日	合同企業説明会 (コレカラヤMEETS)	
16日	スーツデー (十三)	
27日	土曜クラブ (高槻: 仕事を知る勉強会、十三: ニフレル)	

5月	行	事
7日	企業実習 (化粧品メーカーにてPOPカットやピッキングなど)	
11日	土曜クラブ (高槻: 実習報告会&OBOG交流会、十三: 神戸動物王国) OB会 (カラオケ、男山ケーブル、京都水族館、ゲームラボ、アートラボ)	
14日	企業実習 (総合病院にて食堂での食器洗浄など)	
21日	スーツデー (十三)	

(岡本 記)

### ①新プログラム ジョブリサーチをはじめました (自立訓練)

たかつきランチの自立訓練では、3月から仕事をテーマにしたプログラムをスタートさせました。身近な場所にあるお店や会社の仕事について、調べてからフィールドワークに出かけています。働くということについて少しずつ知っていただければと思います。



### ②体験実習に行ってきました (就労移行支援)

ご利用者さんが、株式会社ニトリの実習に参加され、店内売場の整理整頓などに取り組みました。お客様から声を掛けられることもあり、初めは緊張されていましたが丁寧に店員の方へ引継ぎすることが出来ました。遅刻欠席なく続けられたことや、メモ取りなど仕事に必要なスキルも使い、お店の方からは問題なく作業出来ていたと高い評価をいただきました。ご本人も5日間やり切ったことで自信を持てたと振り返られており、とても良い実習になったと思います。



### ③OB会も盛り上がっています! (定着支援)

5月のOB会は「お出かけラボ」「鉄道ラボ」「カラオケラボ」「ゲームラボ」「アートラボ」の5チームに分かれて開催しました。各ラボの実施内容は、OBの皆さんと話し合って決めています。今回のOB会もたくさんの方が参加され、それぞれ楽しんでおられました。







市役所花壇の  
植栽をしました！



高槻ジャズストリートに  
合わせて販売をしました！



「婦人画報」に掲載されているフルセックの製造を頑張っています！



レクリエーションも楽しみました♪



期間限定商品のご紹介

いつもご愛顧いただきありがとうございます。  
店頭では期間限定の「たかつきレモンショコラ」や「レモンケーキ」の販売がスタートしております。

「たかつきレモンショコラ」は高槻で育てられた「高つきレモン」で作ったジャムとっとり濃厚なチョコレート生地のできた商品です。ぜひご賞味ください。



Instagramのご紹介

お店の情報をアップしていますので、ぜひご覧ください♪



～ 訪問の様子 ～

はさみするの、すきなんだ♡



さいごの1こだ!!



いくらになるか、計算計算...



書くところをまちがえないように...♪



やったあ！完成だ！！

トーキングマットで好きなお菓子についてお話ししています



## 萩の杜家族会 掲示板

3月	行	事
11日	イオン黄色のレシートキャンペーン（関連店での買い物協力依頼） 施設と通所部との懇談会（クロスパル高槻） 6名出席	
28日	サークル萩（今城塚公民館）	
4月	行	事
11日	イオン黄色のレシートキャンペーン（関連店での買い物協力依頼）	
25日	サークル萩（今城塚公民館）	
29日	令和6年度家族会定期総会（クロスパル高槻） 22名出席 ・令和5年度活動報告 ・令和6年度役員選出と活動計画案、予算案について	
5月	行	事
11日	イオン黄色のレシートキャンペーン（関連店での買い物協力依頼）	
23日	サークル萩（今城塚公民館）	

（池永 記）

4月29日（祝）令和6年度家族会定期総会を開催しました。家族は夫婦5組を含む22名（内 議決権は15名）の参加でした。法人からは5名の参加をいただきました。令和5年度の報告の後、令和6年度役員の紹介、活動予定、予算等、順調に拍手で承認されました。施設の方からはグループホームの建設、萩の杜個室化改造計画の具体案が示されました。

今年度はコロナ感染が減少しキャンペーン活動がしやすくなりました。

登録団体13グループの内、今年も最高額の58,000円をイオンから贈呈されました。毎月11日のキャンペーンには今村さんが1時間店内に立ってお客さまに呼びかけて協力をお願いしています。時には目的を聞かれることもあり萩の杜のP.Rにもなっています。イオン関連の他店のレシートの預り分も有効です。

施設に必要な備品、消耗品の購入に当てられ喜んでもらっています。今後共よろしくお願いします。



いつも大変お世話になっております。58,000円のギフトカードを頂き、下記物品を購入いたしました。萩の杜にて、それぞれ大切に使用させていただきます。

萩の杜職員一同、心より御礼申し上げます。

萩の杜

### 令和6年度 イオンギフトカード 購入リスト



サーキュレーター1台、プリンター1台、掃除機1台、ドライヤー1台、レターケース4個、体重計1個、プリンターインク2個、ハサミ1個、コピー用紙5個

## ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

3月	行	事
12日	第9回役員会（高槻市地域福祉会館3階会議室）定期総会資料準備確認	
18日	家族会会長会（高槻市生涯学習センター第1会議室）東会長出席	
4月	行	事
2日	会計監査（法人本部会議室）会計監査報告書作成 第10回役員会（法人本部会議室）定期総会資料作成作業・配布	
22日	経営協議会（Zoomにて）東会長出席	
23日	定期総会（クロスバル高槻 5階視聴覚室） 家族会会員：出席 49名（委任状9名含む） 欠席 4名<会員総数 53名> 第1号議案 令和5年度行事活動報告 第2号議案 令和5年度会計報告及び会計監査報告 第3号議案 令和6年度役員及び会計監査・参与選任 第4号議案 令和6年度行事計画 第5号議案 令和6年度予算計画 以上の議案すべて承認 ・松上理事長より「令和6年度北摂杉の子会年度方針策定」説明 ・平野常務理事より「法人現状報告」 ・下日中活動支援部統括部長より「日中活動支援部事業目標」説明 ・森田施設長より「令和6年度事業計画」説明 <令和6年度 役員> 会 長 金谷 健（新任） 副会長 実宝 公実 ・唐木 崇行（新任） 会 計 中川 琳津子 ・大東 由貴（新任） 事務局 山田 信子 ・久慈 麻子（新任） ・瀬戸 洋子（新任） ・梁 恵子（新任） 会計監査 妹尾 恵美子（新任） 参 与 平野 貴久 ・森田 耕平 <新会員 5名> 青木 ・沖本 ・高田 ・田淵 ・玉田 令和6年度第1回役員会（クロスバル高槻 5階視聴覚室）	
25日	旧役員慰労会 かごの屋にて開催	
5月	行	事
20日	後援会役員会（高槻市生涯学習センター第2会議室）金谷会長出席	
27日	新設グループホーム希望者の会 見学会開催 見学先：日中サービス支援型グループホーム Stars高槻津之江	
28日	第2回役員会（高槻市地域福祉会館3階会議室2）	

（山田 記）

### 旧役員慰労会

4月25日 旧役員の慰労会をかごの屋にて開催いたしました。

東会長には、9年間と長らく会長として、ジョブサイトひむろ家族会にご尽力いただき心より感謝申し上げます。



## ジョブサイトよど家族会 & ジェイ・ブランチよど家族会 掲示板

3月	行	事
5日	3月定例会（淀川区民センターの空調設備改修工事期間のため開催中止）	
9日	合同役員会（ジョブサイトよど1階）	
18日	家族会会長会（高槻市生涯学習センター） 出席：永井会長、玉木会長	
30日	合同役員会（アーリーアーク306号室）	
4月	行	事
24日	合同総会（淀川区民センター） 法人来賓：松上理事長、下部長、原田副部長 ジョブサイトよど家族会（出席：12名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席：3名）	
	家族会懇親食事会（がんこ十三総本店） 法人来賓：松上理事長、河端先生ご夫妻 ジョブサイトよど家族会（出席：10名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席：3名）	
5月	行	事
6日	合同役員会（ジョブサイトよど1階）	
20日	北摂杉の子会後援会 定例役員会（高槻市生涯学習センター） 出席：永井会長	

（永井 記）

## ふれいすBe家族会 掲示板

3月	行	事
13日	役員会（カフェBe）参加者 11名 ・第15期定期総会資料について 総会のお知らせと議案の確認 ・次期役員の担当決め	
4月	行	事
13日	ふれいすBe家族会第15期定期総会 審議事項 第1号議案 2023年度活動実績 第2号議案 2023年度収支報告および会計監査報告 第3号議案 2024年度役員および会計監査・参与の選出の件 第4号議案 2024年度活動計画案 第5号議案 2024年度予算計画案 第1号～第5号すべて承認されました	
	役員会（カフェBe）参加者 9名 審議事項 ・家族会総会について ・家族会員の名簿の修正	
5月	行	事
8日	役員会（カフェBe）参加者 10名 審議事項 ・会員の確認と名簿の確認 ・ショートステイの懇談 7月1日（月）13:00～14:00に決定 ・参観&ランチ実施予定月（9月10月11月12月）	

（芦川 記）



## 北摂杉の子会 後援会 掲示板



本会の活動に対して多くの方々や企業、団体、また法人家族会の皆様のご支援を頂き、誠にありがとうございます。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### <報告事項>

#### I 会員数の動態と資金について

	個人会員数	納入率	団体会員数	納入率	寄付
4月	602	(5%)	36	(2%)	3
5月	602	(8%)	36	(2%)	5

#### 5月末現在の増減・累計

個人：2名 団体：0 寄付：8名

資金 会費：212,000円 寄付：20,000円 合計：232,000円

#### II 前年度は会費、寄付金合わせまして1,760,000円の資金を頂戴いたしました。

今年度5月末までに会費、寄付金合わせまして232,000円の資金を頂戴いたしました。ご支援、ご協力に感謝申し上げます。

#### III 定例役員会を開催し下記の案件について確認。(議事録抜粋) 日 時) 2024年5月20日 (月)

参加者) 役員10名全員、相談役1名中1名が出席

##### 1. 2023年度の活動

###### 1) 会員数

個人会員：600名、団体会員：36団体、合計：636名/団体

###### 2) 後援会費及び寄付収入

後援会費：1,244,000円、寄付：516,000円、合計：1,760,000円

###### 3) 経緯

###### ・法人への寄付

2023年11月に300万円(豊中市立児童発達支援センターWi-Fi工事費用・パーテーション購入およびジョブサイトよどトイレブース取付工事費用およびジョブサイトひむろ活動スペース壁増築工事費用およびレジデンスなさはらもとまちトイレ改修工事費用に充当)

###### ・セキスイハイム住宅紹介制度：2023度は実績なし

・定例役員会(2023年5月)に加えて臨時役員会を3回開催し(2023年8月、2023年11月、2024年2月)、資金集めの方法などを話し合った

・法人各施設家族会会員に後援会への入会をお願いした

- ・後援会に加入された会員にララショコラの会員特典を付与した
- ・寄付金や会費納入の年度ごとの推移の分析を行った
- ・入会申込書を改訂した

#### 2. 2023年度の収支と会計監査報告

##### 1) 収入

前期繰越金：2,067,461円、寄付金：516,000円、後援会費：1,244,000円、受取利息：25円、収入合計：1,760,025円

##### 2) 支出

事務費：13,943円、通信費：14,280円、雑費：33,446円、その他：2,530円、法人への寄付：3,000,000円、支出合計：3,064,199円

##### 3) 次期繰越金

763,287円(2024年3月31日現在)

#### 3. 2024年度の活動計画

##### 1) 法人への寄付

用途及び寄付金額についてはジョブサイトひむろ新施設備品に充当予定

##### 2) 個人会員、団体会員への会費納入依頼

##### 3) 新規会員の加入お願い

##### 4) 会員特典

後援会への加入促進を目的にララショコラとのコラボを継続

##### 5) 諸課題の整理と対応策の検討

##### 6) セキスイハイム住宅紹介制度

今年度も継続する(後援会会員が住宅を建てる人をセキスイハイムに紹介すると、成約者は建物本体価格の3%割引、また後援会に50万円、紹介者にも10万円が支払われます 連絡先は法人本部：佐々木寛昭)

### <その他のご報告>

2024年度以降の後援会役員は、次のとおりです

会 長：沖本卓郎

幹 事：金谷健、芦川香織、植松芳哲、玉木一彦、永井昌明、今村一二三、中村節史

事務局長：平野貴久

事務局・会計：佐々木寛昭

(以上、役員)

監 査：河坂昌利

相談役：松上利男

(沖本 記)

## 寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。

お振込みは右記口座まで。

皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になりますことを、どうかご容赦ください。

記

1. 寄付金(注)

2. 個人会員 年間一口 2,000円

3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座 北摂杉の子会  
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会  
口座番号：5085555

# ～ 皆様の温かいご支援に 感謝いたします ～



□ 法人へのご寄附に感謝いたします。(令和6年3月1日～令和6年5月31日)

青木正樹 沖本篤志 高田重典 玉田歩 江見容子 田淵健史

□ 後援会入会と会費納入に感謝いたします。(令和6年3月1日～令和6年5月31日)

登間佐孝男 和田光子 具志堅進 具志堅郁子 笠原隆之助 古門貞利 佐々木久美子 新川彰 長尾京子  
八里いよ 鈴木都美 村本順子 丸山淳一 三輪智 石橋洋子 横井佐恵子 西井隆造 浅野一夫  
小越洋一郎 小澤周子 浜地憲章 米田たか 野口良三 野口里子 平野千鶴子 飯塚信一 飯塚むつみ  
永井昌明 榎本貴夫 中川まどか 切石芳輝 佐藤邦雄 高原正義 本射三重子 西原清二 堀江真澄  
吉田直美 梁恵子 垣端敏栄 豊澤進 東敬司 加藤浩 新田利秀 浅野憲治 木下敏江 沖本卓郎  
佐藤康子 池下貞子 井上誠子 今中貴子 今村一二三 今村圭子 今村誠吾 今村聡之 今村暢也  
今村美佐代 今村洋子 垣本寿也子 中村淑子 久常進治 久常和子 黒澤和子 中川まどか 岡大緑  
並河博 並河光子 加地佐智代 共和運輸株式会社 匿名3人

□ 後援会へのご寄付に感謝いたします。(令和6年3月1日～令和6年5月31日)

笠原隆之助 浜地憲章 高原伸兒 中川まどか 佐藤康子

□ 家族会へのご寄付に感謝いたします。(令和6年3月1日～令和6年5月31日)

黒瀬美和子 牧野伸廣

□ 家族会への物品のご提供に感謝いたします。(令和6年3月1日～令和6年5月31日)

岡田公子 前垣睦子 南野佐智子 吉田尋美

□ 家族会へのボランティアに感謝いたします。(令和6年3月1日～令和6年5月31日)

佐々木映世

(敬称略 順不同)

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会  
理事長 松上 利男

発行所 北摂杉の子会

住 所 大阪府高槻市城北町1丁目6-8

発行日 2024年7月31日

定価100円

## 施設住所一覧

- **社会福祉法人 北摂杉の子会 法人事業部 人材育成研修室**  
(法人独自の公益事業〈研修・講師派遣・コンサルテーション〉)  
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F  
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
  - **障がい者支援施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)  
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1  
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
  - **萩の杜 日中活動支援センターふれっとなさはら** (生活介護)  
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番25号
  - **萩の杜ショートステイセンター ぶれす** (短期入所・日中一時支援)  
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1  
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0199
  - **グループホーム とんだ** (共同生活援助)  
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
  - **レジデンスなさはら** (共同生活援助)  
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
  - **レジデンスなさはら2丁目** (共同生活援助)  
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目1番8号
  - **レジデンスなさはらもとまち** (共同生活援助)  
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番26号
  - **ジョブサイトひむろ** (生活介護)  
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27  
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
  - **高槻地域生活総合支援センター ぶれいす Be** (生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)  
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号  
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900  
〈短期入所〉 TEL (072)681-4720
  - **生活支援センター あんだんて**  
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)  
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号  
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
  - **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**  
(発達障害者支援センター事業)  
〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13  
谷四ばんらいビル10F  
TEL (06)6966-1313 FAX (06)6966-1531
  - **児童デイサービスセンター an**  
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号  
TEL (06)4862-5454 FAX (06)4862-5466
  - **こども発達支援センター will**  
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)  
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F  
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
  - **こども相談支援センター wish**  
(指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)  
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号  
TEL (072)668-4776 FAX (072)681-4900
  - **自閉症療育センター Link**  
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)  
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F  
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
  - **ジョブサイトよど** (生活介護)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号  
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
  - **ジェイ・ランチよど** (就労継続支援B型)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号  
TEL (06)6303-9430 FAX (06)6195-3710
  - **レジデンスよど三津屋北ホーム** (共同生活援助)  
〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北1丁目9番6号
  - **レジデンスよど十三ホーム** (共同生活援助)  
〒532-0024 大阪市淀川区十三本町2丁目14番9号
  - **ジョブジョイントおおさか**  
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号  
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
  - **ジョブジョイントおおさか たかつきランチ**  
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)  
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F・4F  
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
  - **すぎのご訪問看護ステーション** (訪問看護)  
〒569-0071 高槻市城北町1丁目7-16 リーベン城北401  
TEL (072)668-2670 FAX (072)668-2671
  - **豊中市立児童発達支援センター【通所部門】**  
〒561-0854 豊中市稲津町1丁目1番20号 1階  
TEL (06)6676-7890 FAX (06)6676-7889
- 【法人自主製品店舗】
- 「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) /TAKATSUKU」  
就労継続支援B型  
〒569-0071 高槻市城北町2丁目13番2号  
TEL (072)668-5055 FAX (072)668-5081  
営業時間：10：00～19：00(日・祝休み)
- ※■は行政よりの委託事業

